



とがみ

「やさしく かしこく たくましく」

山形市立滝山小学校

学校だより 第4号

令和6年9月13日

日中はまだまだ暑さが残りますが、朝夕はすっかり涼しくなり、秋の気配を感じる今日この頃です。

2学期がスタートして約2週間。子どもたちは学校生活のリズムを取り戻してきたようです。

さて、パリオリンピックとパラリンピックが開催され、山形市（滝山地区）出身の鏡 優翔（かがみ ゆうか）選手が、レスリング女子76Kg級でみごと金メダルを獲得しました。滝山地区関係者として、加藤 条治選手の活躍に続き、2人目のオリンピック、しかも金メダリストということで、誇らしいと同時に勇気をもらえる存在となりました。機会があれば、ぜひ、話を聴いてみたいものです。

「言葉がもつ力」でみんなが笑顔になる2学期に

私がオリンピックを観戦していて印象に残ったのは、体操男子団体での日本チームの姿でした。あん馬での橋本選手の失敗等が影響し、中国との点差は大きく開いていました。「1位はちょっと難しいかな…」と正直私は諦めかけていました。しかし、テレビの向こうの選手たちは違いました。

「だいじょうぶ。」

「絶対
あきらめんなよ。」

「つなぐよ！」

前向きな言葉でお互いを励まし合っていたのです。

すると、日本チームは素晴らしい演技を連発し、ますます勢いづいていきました。更に、中国には思いがけないミスが出てしまいました。（こちらは胸が痛みました）橋本選手が鉄棒ですばらしい技を次々と決め、中国を逆転しみごと金メダルに輝きました。選手たちの最後まで諦めない姿勢が、あの奇跡を起こしたのです。

滝山小でめざす子どもの姿のために…

日本チームの姿を見て、正にこれが滝山小のめざす子どもの姿だと思い、始業式の講話で、体操男子を例に、子どもたちに呼びかけました。

また、いじめ等の問題について、専門家の中には、ほとんどは「コミュニケーショントラブル」から始まると、おっしゃっている方もいます。発達段階に応じて語彙を増やし、聴き合いながら適切に気持ちや考えを伝え合うようにすることで、いじめ等のトラブルを減少させることができるのではないのでしょうか。

2学期は「言葉のもつ力」を意識し、「元気が出る」「勇気が出る」「ほっとする」「安心する」言葉を多く使い、みんなが笑顔の滝山小に近づいていきたいと考えています。

ぜひご家庭でも、「言葉」について機会をとらえ話題にしてみてください。

ことば 言葉がもつ力

→ 元気がでる、勇気がでる
ほっとする、安心する…

を大切に使おう。



<たくさん使いたい言葉> 例えば…

「おはよう」「こんにちは」

「がんばったね」

「だいじょうぶ」

「ありがとう」

「こうしてみよう」

「あきらめないよ」